



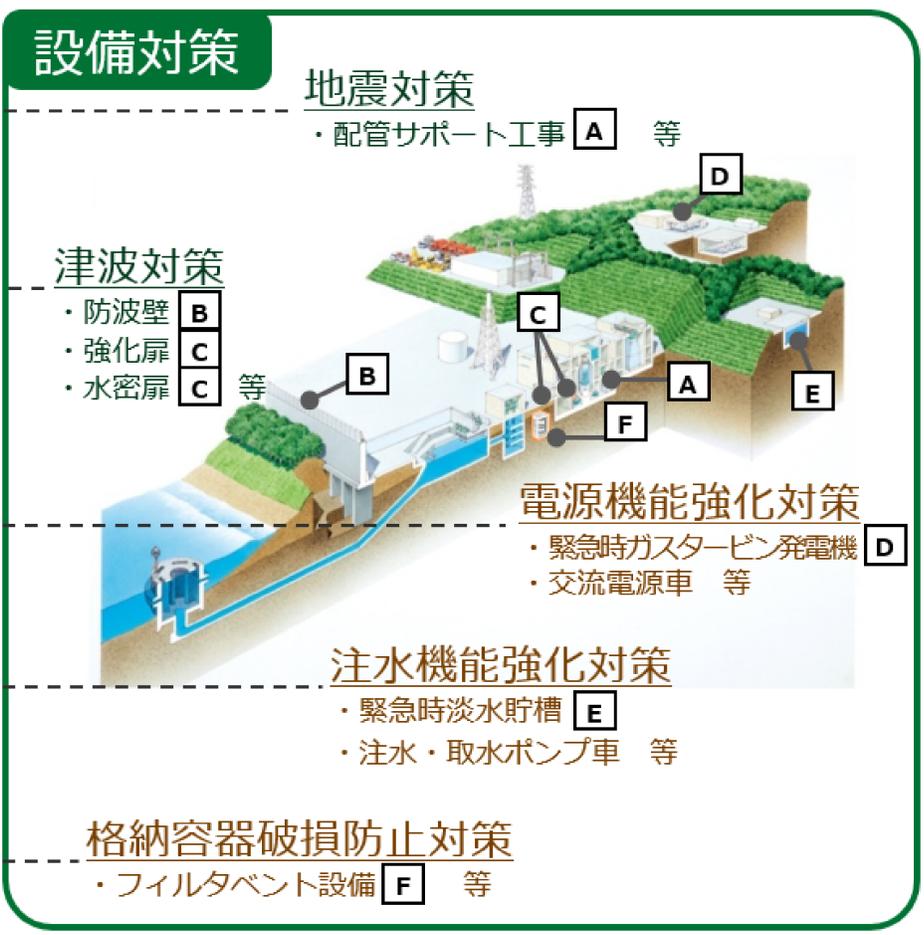
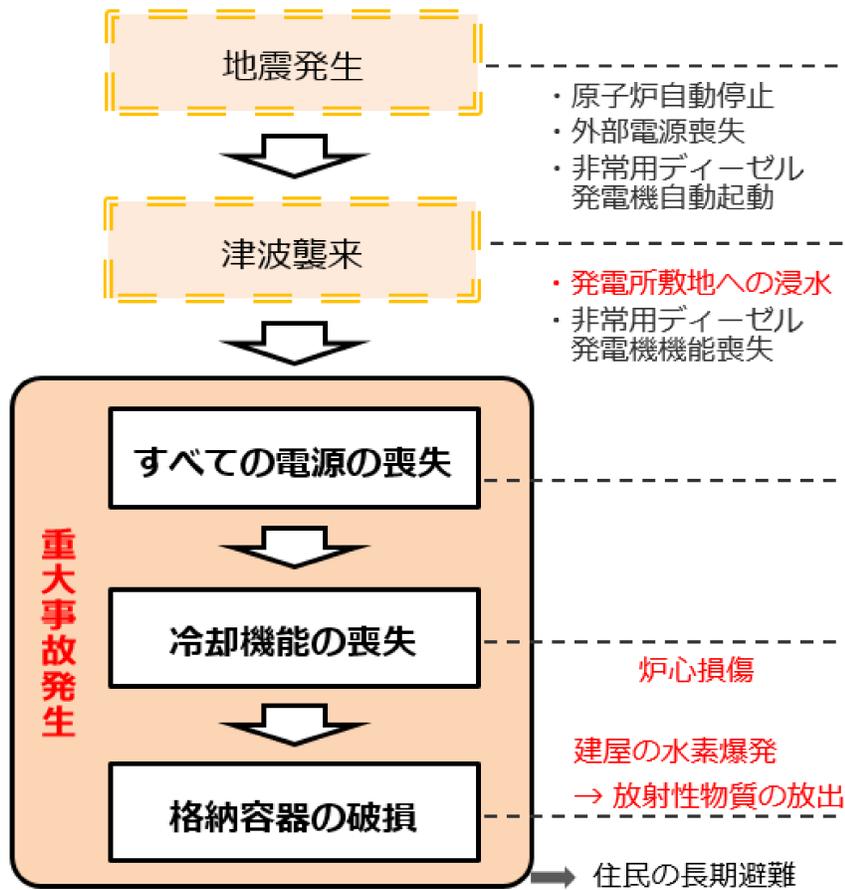
安全性のさらなる追求

浜岡原子力発電所の取り組み

1. 3～5号機への対応

地震・津波対策だけでなく万が一重大事故が発生した場合も想定し、対策を講じることで、福島第一原子力発電所のような「放射性物質の大量放出」による「住民の長期避難」という事態に至らないよう取り組んでいます。

【福島第一の事故の推移】



2. 現場対応力の強化

福島第一原子力発電所の事故の教訓から、発電所では地震や津波等の様々な事態に対処するために、設備の対策やそれらを適切に使うための現場対応力の強化をおこなっています。

【初動対応の強化】

緊急時即応班(ERF)を設置し運用開始に向けた準備を行っています。

24時間
365日体制

緊急時に特化した
幅広い対応力



<役割>

- 戦略検討
- アクセスルート確保
- 可搬設備の操作等
現場対応

【手順の整備・資格の取得】

設備導入に伴い、必要な手順の追加や免許等の資格の取得をおこなっています。



<取得免許例>

- 大型自動車免許
- けん引免許
- 移動式クレーン免許 など

【資機材の充実】

発電所での活動に支障をきたさないよう様々な資機材を配備しています。配備数を見直し、必要に応じて追加しました。



放射線測定器
[シンチレーション
サーベイメータ]



防護服
[タイベックスーツ]

【訓練の充実】

緊急時に対応する組織の能力を向上させるため、目的に応じた訓練を実施しています。

総合訓練



主に現場や発電所外との連携、対応手順の確認を目的に実施しています。

図上演習



判断能力の向上を目的とした訓練を2015年度から実施しています。

現場訓練



シミュレータ
訓練



電源車操作訓練

新たに設置した設備の手順を確認するとともに、可搬設備の操作等に必要力量の向上に努めています。